

# 令和5年第7回(12月)定例会一般質問通告一覧表

令和5年12月19日(火)

番号	氏名	質問事項
1	2 番議員 堤 弘行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のタクシーチケットの方向性について</li> <li>・敬老事業助成金の今後の方向性について</li> </ul>
2	1 番議員 小松 千樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災物資拠点施設の利活用について</li> <li>・交付金を活用した企業誘致による東かがわ市の活性化について</li> </ul>
3	13 番議員 橋本 守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有害鳥獣対策について</li> <li>・「瀬戸内国際芸術祭2025」に向けた取組について</li> <li>・老朽危険空き家への対応について</li> </ul>
4	12 番議員 田中 貞男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬戸芸に向けての取組について</li> <li>・農業担い手育成機構の設立について</li> <li>・農業振興基金について</li> </ul>
5	8 番議員 工藤 潔香	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モーダルミックス事業等への支援について</li> <li>・小海公民館の跡地利用について</li> </ul>
6	10 番議員 山口 大輔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館や会議室等の短時間利用料金の導入をしてはどうか</li> <li>・創生総合戦略アドバイザーについて価値を理解し、一歩前へ</li> <li>・ケアプランを市内事業所が対応できる環境維持のため、ケアマネジャー更新研修費用の補助等をしてはどうか</li> </ul>
7	5 番議員 久米 潤子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帯状疱疹予防ワクチン接種公費助成について</li> <li>・学校給食費について</li> <li>・使用料の見直しについて</li> <li>・廃校活用推進について</li> </ul>
8	15 番議員 東本 政行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白鳥温泉の再開について</li> <li>・子どもの権利条約を念頭においた制服について</li> <li>・人口減少克服について</li> <li>・引田駅に続いて白鳥駅にもトイレ設置を</li> <li>・平和問題について</li> </ul>



受領 令和 5 年 12 月 / 日 午後 4 時 10 分

令和 5 年 12 月 1 日

東かがわ市議会議長  
渡 邊 堅 次 殿

東かがわ市議会議員 堤 弘行



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
① 高齢者のタクシーチケットの方向性について	<p>本市では、東かがわ市地域公共交通活性化協議会が設立されており、本市内の公共交通空白地・不便地の解消を図るため、公共交通の利用を促進し、総合的な交通ネットワークを構築して交通弱者の生活交通網を確保するために、令和 4 年度には「東かがわ市わくわくおでかけタクシー事業」として、タクシーチケットを使った実証実験を行いました。これは、水主、相生地区の 75 歳以上の方を対象に、タクシーの空き時間の活用によるタクシーの効率的な利用と交通弱者支援策の有効性の検証を目的に実施したものです。</p> <p>その実証実験の結果を踏まえたうえで、今年度は令和 5 年 7 月 1 日から 11 月 30 日までの 5 か月間にわたり、対象者を 75 歳以上の運転免許証非保有者の方とし、申請をした方に対し初乗りチケットを 1 人 10 枚配布しております。</p> <p>また、対象地域についても市内全域に広げるとともに、午前中の利用も可能とすることで、真に支援を必要とする方の利用実績やタクシー事業者の供給体制など、タクシーを活用したドアツードア型の移動支援策の有効性について更なる検証を行っております。</p> <p>また、この事業は、当初予定していた人数を大幅に超えたため、追加の補正予算を計上しており、高齢者にとっても喜ばれている事業であり、助成券 10 枚を使い切った高齢者からは、車がなくて外出に困っているので買い物へ行</p>	市長

く時や病院、公共施設に行くのにもすごく助かったという声を聞いております。

それを踏まえて、次の3点について質問致します。

- ①11月末で5か月間の実証期間を終えての、利用実績について伺う。
- ②昨年度の実証実験から、運転免許証非保有者などの要件を追加したことや午前中の利用を可能としたことなどの検証効果はどうだったのか伺う。
- ③検証結果を踏まえ今後の方向性について伺う。

② 敬老事業助成金の今後の方向性について

本市では、毎年9月の敬老の日にちなんで、自治会等に対し、満75歳以上の高齢者1人あたり1,000円の助成金を交付しております。しかしながら、自治会役員の高齢化や担い手不足による役員負担の増加、また、自治会の未加入者に対するの支援が行き届いていない等の理由により、自治会を通しての活動は困難との声もあり、現状の制度では、今後継続するには、様々な課題があり難しいと聞いております。

その課題を受けて、民生文教常任委員会では、今年7月には福井市役所で行政視察を行い、8月には閉会中の調査として敬老事業について調査をし、有効な取組ができないか、いろいろ検討をしてみました。

敬老事業助成金は、75歳以上の方に大変喜ばれていますが、今後の方向性について、どのように考えているのか伺います。

市長



受領 令和5年12月4日 午前 10 時 45 分

令和5年12月4日

東かがわ市議会議長  
渡邊 堅次 殿

東かがわ市議会議員 小松 千樹



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
1.防災物資拠点施設の利活用について	<p>防災物資拠点施設が完成した。県内では初めての施設であり、倉庫機能のほか、市消防団女性部などが使用する会議室も備え、屋外は市消防団の訓練や駐車場として利用できる。災害時は自衛隊など災害派遣部隊の活動拠点となり、臨時ヘリポートとしても使用することとなっている。</p> <p>災害時の活用は当然であるが、災害時以外の利活用が重要と思われる。今後の利活用について伺う。</p>	市長
2.交付金を活用した企業誘致による東かがわ市の活性化について	<p>岸田内閣は、「デジタル田園都市国家構想」を目玉政策として掲げている。これを具現化して地方創生を推進するためには、総合的な戦略が大切であり、今はデジタルを駆使した田園都市ネットワークを創る、デジタルを使って地方創生を推進するという構想である。</p> <p>このことに加え、コロナ禍において、地方創生に係る交付金や補助金は多くあるが、地方自治体での活用にはバラツキがある。新型コロナウイルス感染症が収束し、経済や社会活動が元に戻っていけば、この地方創生関係交付金の形も変わっていくと思われる。</p> <p>このような中で、東かがわ市の活性化を図るには地方創生関係の交付金を活用した企業誘致が必要であると考えます。</p> <p>企業誘致に優位になるためには、地政学上のことやインフラ整備の状況にもよるが企業が来やすい環境整備が不可欠である。併せて、地域特性の優遇措置も必須であると考えます。</p> <p>今こそ、本市の活性化に取り組むチャンスだと考えるが、国の交付金事業を活用した企業誘致への取組について伺う。</p>	市長



受領 令和 5 年 12 月 5 日 午前 10 時 25 分

令和 5 年 12 月 5 日

東かがわ市議会議長  
渡 邊 堅 次 殿

東かがわ市議会議員 橋 本 守



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
有害鳥獣対策について	<p>市内におけるイノシシやサル、そして近年ではシカなどの野生動物による農作物への被害は、農家の人達の営農意欲を失くすとともに離農や耕作放棄地の増加につながるなど深刻な影響を及ぼしています。また、最近においては、イノシシが市街地に出没し、人身被害が発生するなど山間部だけの問題ではなくなっています。</p> <p>市では、「鳥獣を寄せ付けない環境づくり」、「侵入防止施設の整備」、「捕獲の奨励」の三つの方針に基づき対策を実施しており、県下の自治体の中でも先進的な取組を行っていることに対し大いに評価しております。</p> <p>そのような状況の中最も重要な対策は、有害鳥獣を捕獲し絶対数を減らすことであり、一番効果的であると考えます。しかし、鳥獣を捕獲するのは誰でもできることではありません。捕獲の資格を持つ、東讃地区猟友会の会員の皆さんの地道な活動が不可欠であります。</p> <p>今後も、野生動物からの被害を気にすることなく、農家の皆さんが安心して農作物を作れるよう、市としてより一層の積極的な取組が必要であることから、以下の点について質問いたします。</p> <p>① 令和 4 年度の有害鳥獣捕獲実績と比較して、本年度の捕獲頭数が非常に減少しているようですが、現状とその要因についてどのように考えていますか。</p> <p>② 近年、シカの捕獲数が急激に増加しています。10 年程前の平成 24 年度の捕獲数は 8 頭でありましたが、令和</p>	市 長



4年度の捕獲数は167頭と20倍近くに増加しています。シカからの被害を増加させない為にも、今ここで食い止めることが大変重要であります。シカに関しては、体型も他の鳥獣より大型で捕獲後の個体の埋設処理の負担が大きく、狩猟者の皆さんも大変苦慮していると聞いております。そこで、シカの捕獲奨励金の単価をサルの単価と同額に増額する考えはありますか。

③ 今年、北海道や東北地方でクマの出没が相次ぎ人身被害も多く発生するなど、過去に例がない最悪の事態が起っています。全国知事会でも国に対して、クマの対策について要請しているようです。

例えば、シカは、10年程前には市内においてほとんど見ることもありませんでしたが、現在は、車で山間部を走っているとよく見かけることがあります。クマも同じことにならないよう、今のうちに手を打っておくことが必要だと考えます。このような状況を踏まえて香川県に対して、県下におけるクマの実態調査を依頼すべきと考えますが、市長の見解をお伺いします。

「瀬戸内国際芸術祭2025」に向けた取組について

現在、東かがわ市は全国的に大きく注目されています。それは、皆さんご承知のとおり本年10月から放映が始まったNHK連続テレビ小説「ブギウギ」の主人公のモデルである笠置シズ子さんが本市の出身だからです。これを契機として、マスメディアにより本市における地場産品、そして観光施設などが取り上げられ紹介されています。また、地元引田においては「東かがわ市ブギウギ応援隊」を結成し、その盛り上がりの後押しをしています。しかしながら、この朝ドラも来年3月には、放映が終了となってしまいます。この東かがわ市への注目を一過性のものに終わらすわけには行きません。

このような状況の中、本年9月に「瀬戸内国際芸術祭2025」の会場として県下沿岸部のさぬき市、宇多津町、そして本市の3市町が新たに追加承認されました。2025年には大阪・関西万博も開催されることから多くの来訪者が期待されるところであります。

2025年の開催まで後2か年もありません。そこで、

市長

現状における瀬戸内国際芸術祭へ向けての本市の取組状況をお尋ねいたします。

① 今回本市が「瀬戸内国際芸術祭2025」の会場となった経緯とその目的や意義をお伺いします。

② 従来瀬戸内国際芸術祭は、瀬戸内海の島々を会場として、各アーティストの作品を展示し観覧してもらうものです。本市では、候補地として引田のまち並みなどが挙げられていますが、現時点において決定している場所や計画内容をお伺いします。

③ 瀬戸内国際芸術祭ほどの大きなイベントを民間や地元ボランティアだけで行うことは、困難なことであります。交通アクセスの対策や会場整備、また、インバウンドへの対応など市が率先して取り組んで行かなければならないと考えます。そこで、来年度への予算も含め、市として瀬戸内国際芸術祭開催に向けてどのように積極的に取り組んで行くのか、市長の見解をお伺いします。

老朽危険空き家への対応について

瀬戸内国際芸術祭や大阪・関西万博も開催されることから引田のまち並みだけでなく、他の地域にも足を運ぶ人たちもいるのではないかと思います。白鳥神社も観光スポットになり、訪れる人々をよく見かけるようになりました。しかしながら、隣接地の民家が崩落しており、取り壊しの要請を何年も続けておりますが一向に進展せず、非常に危険な状況となっております。安全のためにも行政代執行を視野に入れた対応を検討してはどうかと考えますが、市長の見解をお伺いします。

市長



令和 5 年 12 月 5 日 午前 10 時 30 分

令和 5 年 12 月 5 日

東かがわ市議会議長  
渡 邊 堅 次 殿

東かがわ市議会議員 田 中 貞 男



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
瀬戸芸に向けての取組について	<p>瀬戸内国際芸術祭 2025 が東かがわ市でも開催されることになり、これからの東かがわ市の観光を発展させるため、大きな一歩を踏みだすきっかけを頂いたと感じています。東かがわ市には古くからの観光名所などは少ないですが、市制施行後の 20 年間に、新しく造られたものや、魅力が発見されたものがあるのではないかと感じています。</p> <p>瀬戸芸に向けて、早い段階から準備を行い、年間を通じて東かがわ市に訪れやすいような取組をするべきと思います。そこで、以下の点について市長に伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 瀬戸芸の開催に向けて、市としてどのように取り組んで行く考えか。</li><li>2. 行政だけで取り組むのではなく、多くの市民や市外の専門家の方に関わってもらうための取組について、どのように考えているのか。</li><li>3. 東かがわ市には、瀬戸芸以外で観光になり得るものはどれだけあるのか。</li><li>4. 滞在型観光について、どのような考えで取り組んで行くのか。</li><li>5. 飲食などについて、どのような考えで取り組んで行くのか。</li><li>6. 宿泊型観光ツアーに取り組む考えはあるのか。</li></ol>	市 長
農業担い手育成機構の設立について	<p>東かがわ市の農業は、高齢化による離農者が増えてきている一方で、新規就農している若い世代も増えてきていると感じています。しかし、まだまだ農業支援の取組が十分とはいえず、就農を希望する若い世代が増えないのは、生</p>	市 長

<p>農業振興基金について</p>	<p>計が成り立たないと思っていることが要因の一つでないかと感じています。農地を守って行くには、農業で生計が成り立つ仕組み作りが必要だと考えます。</p> <p>農業従事者は、国や県そして市の様々な補助制度を利用しながら農地を守っていますが、東かがわ市に農業に関する新たな組織作りをすることで、より一層、農業の担い手が増えて移住してくてくれるのではないかと考えます。</p> <p>2022年の農林業センサスによると東かがわ市の農家戸数は約1300軒あり、ここ5年以内で新規就農者は17名です。そのうち、市内在住が13名、市外が4名です。今後、農業従事者を増やすには、思い切った取組が必要と考えます。</p> <p>先日、北海道富良野市農業担い手育成機構の視察を行いました。同機構は市、土地改良区、JA、農業共済、普及センター、農業委員会、ふらの農翔会などで組織化され、新規就農者に対して経営や農業の指導、居住の斡旋まで行っています。規模は違うにしても、東かがわ市版の担い手育成機構の立ち上げが必要と思いますが、以下の点について市長に伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 農業事業に関係している農家、法人、団体、関係機関等の連携はとれているのか。</li> <li>2. 地域農業再生協議会や大内農業振興公社等を担い手育成機構として取り入れて組織作りをして行く考えはあるのか。</li> </ol> <p>令和4年3月議会で農業振興基金について一般質問を行いました。その後どのような協議を行って検討をしたのか、また、どのような進展があったのか、その経過について伺います。</p>	<p>市長</p>
-------------------	--	-----------



受領 令和 5 年 12 月 5 日 午前 10 時 40 分

令和 5 年 12 月 5 日

東かがわ市議会議長  
渡邊 堅次 殿

東かがわ市議会議員

工藤 潔香



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
モーダルミックス事業等への支援について	<p>昨年度、本市にて、JR 四国と大川バスが実証実験として、JR 高德線三本松・引田間を含む定期券を持つ利用者が、並行する大川バスの路線バスにも無料で乗れる事業を実施した。この事業は、JR 四国と大川バスの協働により効率的な輸送体系を作り、公共交通の利用促進及び地域に最適で持続可能な公共交通ネットワークの構築を図る「モーダルミックス」の取組として実施され、三本松高校生等を中心に多くの方に利用された。しかしこの事業は、香川県からの国のコロナ関連の交付金を活用して実施したため、令和 5 年度は同様の取組は実施されていない。利用した学生からは、学校の終わる時間によっては JR の待ち時間が長く困ることがあったが、バスが利用できることにより、待ち時間が少なく便利に利用できた、といった声も多く聞いている。</p> <p>人口減少や自動車依存が進む現状では、市民の公共交通離れが加速し、公共交通機関の利用者数の減少、それに伴う減便などの恐れも高まる中、既存の公共交通の特性を相互に生かし、効率的な輸送体系を作るモーダルミックス事業の取組はより重要性が高まっていくものと思われる。</p> <p>そこで以下の 2 点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 公共交通事業者のこのようなモーダルミックス事業の取組に対して支援制度を創設してはどうか。</li><li>2 公共交通機関離れを防ぐためにもそれを利用して通学する学生に対して支援制度を創設してはどうか。</li></ol>	市長

<p>小海公民館 の跡地利用 について</p>	<p>令和4年9月定例会において「小海公民館の跡地利用について、どのような方向性を持っているのか、何か計画はあるのか」の質問に対して、「今のところは具体的な計画は定まっていない、同一敷地に防火水槽があることも踏まえ、どのような利活用が望ましいか、今後検討していく」と、市長から答弁をいただいた。</p> <p>小海公民館の跡地は、小海地区のほぼ中心の位置であり、県道にも面し、敷地内に防火水槽もあることから、地域の防災、減災、消防活動の向上を目的とした利活用が望ましいと考える。</p> <p>小海地区には引田方面隊第3分団の屯所があり、令和5年12月1日現在26名の団員が所属している。現在の屯所は駐車場がなく、県道沿いに駐車しなければならないのが現状で、その上、待機室も狭く不便であり、消防団の活動に支障をきたす可能性も懸念される。そのことから、小海公民館の跡地には、消防屯所の建設が最も適した利活用だと思われるが、市長の所見を伺う。</p>	<p>市長</p>
---------------------------------	---	-----------



受領 令和 5 年 12 月 5 日 午前 11 時 55 分

令和 5 年 12 月 5 日

東かがわ市議会議員  
渡邊 堅次 殿

東かがわ市議会議員 山口 大輔



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
体育館や会議室等の短時間利用料金の導入を してはどうか	<p>令和5年9月議会において上程された議案第3号東かがわ市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例の制定について以下のように反対討論を行った。</p> <p>「今回のケースが可決となると、今後体育施設を短時間使いたい、使用範囲を半面から4分の1にして欲しい、会議室の使用時間を10分単位にしてほしいといった要望が出た時にも同様に受け入れ料金改定を進めていかなければ差別になりますし、市がダブルスタンダードを設定したことになってしまう」</p> <p>この議案は可決となった。そこでダブルスタンダードがないよう他の料金体制も見直すべきと考える。</p> <p>現在体育館や会議室等をイベント等で時間いっぱい利用する場合、準備や後片付け等の時間を確保しなければいけない。それほど時間はいらぬ場合でも1時間の確保が必要となり、なんとかならないかという声も多い。</p> <p>そこで以下について市長に伺う。</p> <p>(1) 利用時間を30分単位で利用できるよう体育館や会議室等の金額設定を変更してはどうか</p> <p>(2) 上記(1)の導入が困難な場合、イベント等の利用に対し、準備や片付けで使用する場合に限り30分単位で利用できるようにしてはどうか</p>	市長 教育長

<p>創生総合戦略アドバイザーについて価値を理解し、一歩前へ</p>	<p>創生総合戦略アドバイザーに関して、決算審査特別委員会における質疑応答で、その成果や次期基本構想策定への大きな貢献が確認され、費用対効果としては価値があるとの答弁があった。また想定していた回数を超えて市を訪れ、積極的に地域活動に参加している姿も見受けられる。</p> <p>しかし創生総合戦略アドバイザーとしては市とのやりとりが活動の中心となっており、その価値が、残念ながら職員、市民にまで伝わり浸透しているとは感じられない。</p> <p>現在、ブギウギをはじめとし、瀬戸内国際芸術祭や大阪・関西万博など、全国規模の事業と連携し、東かがわ市の存在を広く周知する必要性が高まっている。また、来年度から10年間の次期基本構想の内容を実現していくためにも、もっと創生総合戦略アドバイザーの知見を活かすべきと考える。</p> <p>そこで以下について市長に伺う。</p> <p>(1) 瀬戸内国際芸術祭や大阪・関西万博などに向けた政策立案について、創生総合戦略アドバイザーにどのように関わってもらうことを想定しているのか</p> <p>(2) 次期基本構想の将来像「つながる未来をともに創るまち東かがわ」を実現していくには、地域の人たちが地域課題を主体的に解決し、その活動が自走できるよう働きかけていくことが重要と考える。創生総合戦略アドバイザーは現在、市とのやりとりが活動の中心となっているが、このような地域へのサポートに関わってもらう仕組みをつくるべきではないか</p>	<p>市長</p>
------------------------------------	--	-----------

<p>ケアプランを市内事業所が対応できる環境維持のため、ケアマネジャー更新研修費用の補助等をしてはどうか</p>	<p>介護保険制度にかかる3年に一度の大きな改正が新年度行われることにあわせ、現在国の審議会でもさまざまな議論が交わされている。国の理想も大事とは思いますが現場が回らないと絵に描いた餅になる。介護職に対する支援は国でも多く語られているが、介護事業の根幹である計画を立てるケアマネジャーについてはあまり支援の手が進んでおらず、今後も成り手不足や離職が進んでいくと予想される。</p> <p>サービスを希望する対象者に対し、ケアマネジメントが市内で十分対応できるようにしなければならない。</p> <p>そこで以下について市長に伺う。</p> <p>(1) 要支援者に対するケアマネジメントを行う職員が不足し、1名当たりの人数が増えすぎるなどの負担が見られる。職員が不足する場合は市から出向して事業の実施ができるよう対応してはどうか</p> <p>(2) 市内で働くケアマネジャーを維持確保するためにも、ケアマネジャーの更新研修に関する費用を市独自で補助する体制を作ってはどうか</p>	<p>市長</p>
--	---	-----------



受領 令和 5 年 12 月 5 日 午後 1 時 40 分

令和 5 年 12 月 5 日

東かがわ市議会議長  
渡 邊 堅 次 殿

東かがわ市議会議員 久 米 潤 子



### 一 般 質 問 の 通 告 書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
帯状疱疹 予防ワク チン接種 公費助成 について	帯状疱疹予防ワクチン接種費用の負担軽減へ、独自の制度を設ける自治体が、令和 5 年 11 月時点で、1,718 自治体中 326 自治体に広がっている。令和 4 年 12 月議会の一般質問後、本市独自の助成事業をどのように検討されているのか伺う。	市長
学校給食 費につい て	学校給食費について、文部科学省は教員の負担軽減のため徴収・管理は自治体が行うよう求めているが、依然として学校に任せている自治体が全国では 6 割を超えている。 (1)本市の給食費徴収・管理の現状を伺う。 (2)給食費の徴収・管理を市が行う公会計化にした場合の業務負担及び事業経費について伺う。 (3)県が第 3 子の学校給食費を無償化したことから、本市も第 1 子、2 子への学校給食費無償化を検討してはどうか。	市長 教育長
使用料の 見直しに ついて	現基本構想の検証結果では、施設整備は概ね計画通りに進んだとの報告であった。使用料を支払えば使える文化施設は、財務課 1、地域創生課 7、生涯学習課 4、指定管理 6 の計 18 施設となった。使用料は部屋の広さ等一定の基準を設け条例に定めてきたが、施設ごとに使用料が免除される団体や、エアコン使用料金に違いが生じている。 今日までの消費税率の変更、電気代の高騰から、今後の施設のランニングコストを考えると、改めて本市全体の使用料等について検討すべきと考えるがご所見を伺う。	市長 教育長
廃校活用 推進につ いて	岡山県笠岡市は廃校となった校舎をクリエイターのシェアアトリエとして活用し満室だ。旧福栄小学校も創業潜在層、クリエイター等に貸し出し、移住定住、地域活性化を進め、ひいては新たな歳入確保に努めてはどうか。	市長



受領 令和 5 年 12 月 5 日 午後 3 時 45 分

東かがわ市議会議員

渡邊 堅次 殿

令和 5 年 12 月 5 日

東かがわ市議会議員 東本政行



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
(1)白鳥温泉の再開について	<p>白鳥温泉は、1978年に旧白鳥町の直営で創業され、目的は温浴施設条例第1条「健康の増進、福祉の向上を図るため」としている。2009年に運営は指定管理制度に変更されたが、温泉の目的は変わっていない。多くの住民は、「健康の増進、福祉の向上を図る」施設として白鳥温泉の再開を切望している。</p> <p>地方自治体の一番の任務は、地方自治法の第1条の2、「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として」と明記されている。自治体の目的である「住民福祉の増進」と白鳥温泉の目的である「健康の増進、福祉の向上」とは完全に一致している。以上のことから、規模は小さくても再開を検討してはどうか。</p>	市長
(2)子どもの権利条約を念頭においた制服について	<p>児童の権利に関する条約、いわゆる子どもの権利条約は、子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約である。1989年に国連総会で採択され、日本は1994年に批准し、今その具体化と実施への努力が求められている。</p> <p>大川中学校では2025年度をめどに、制服の変更を検討していると聞く。その場合、子どもの権利条約第12条で述べられている、子どもの意見表明権を保障し、学校の主人公である生徒の意見を取り入れた制服にすべきだと思うがどうか。</p> <p>また、制服はジェンダー平等の観点が大切だと思うがどうか。</p>	教育長
(3)人口減少克服について	<p>1.市長は、今のままの人口減少傾向が継続しても、住みよい東かがわ市はつくれる、との認識か。</p> <p>2.高知県梶原町では、空き家を地域資源と位置付け、それを活かし、人口減少に立ち向かっている。梶原町は空き家を借り上げリフォームして安価で貸し出し、移住者を全国から募集している。また子育て支援の充実など、町の魅力をアピールし、その結果移住者が増え人口を維持している。東かがわ市でもこれらの取組を学び実施を検討してはどうか。</p> <p>3.帰来地区にある、元県立白鳥病院医師宿舎が売却されること</p>	市長 教育長

<p>(4)引田駅に続いて白鳥駅にもトイレ設置を</p>	<p>になった。元宿舎を東かがわ市が購入し市営住宅にして移住者のために活用してはどうか。</p> <p>4.小、中学校の給食費は今回県の施策として、第3子から無償化となる。この機会に東かがわ市独自施策として、来年度から第2子の給食費を無償にしてはどうか。</p> <p>住民の声が届き、JR 引田駅前に新しいトイレが建設されることになった。市内のどこに住んでいても、市民サービスを平等に保障し提供することは、市の責任である。以前から議会に市民の要望が上がっていた、JR 讃岐白鳥駅前にも、トイレ設置が必要だと思うがどうか。</p>	<p>市長</p>
<p>(5)平和問題について</p>	<p>1.イスラエルとパレスチナは、人質を解放し戦闘中止にとどまらず、イスラエルによるガザ地区への大規模攻撃を直ちにやめ、双方が即時停戦に向け交渉を始めることを求める声を、東かがわ市からも上げてはどうか。</p> <p>2.核兵器禁止条約第2回締約国会議が11月27日から12月1日まで開かれ、「核兵器のない世界」への大きな希望を示す会議となった。会議は、核抑止論について不拡散や核軍縮に反するとして厳しく批判し、唯一の戦争被爆国である日本など、核禁止条約未参加国に署名や批准を呼び掛ける政治宣言を採択した。東かがわ市では、令和3年3月議会で、「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める」意見書を可決している。また、東かがわ市は非核平和都市宣言自治体である。平和を守る課題は国政だけの問題でなく、市の取り組みと、地方から声を上げることが大変重要だと考える。</p> <p>その立場から市長は、日本が核兵器禁止条約に署名、批准するよう声を上げるべきだと思うがどうか。締約国会議にはオブザーバーとして参加せよ、の声を上げてはどうか。</p> <p>3.東かがわ市主催の戦没者追悼式典が11月26日に行われた。プログラムに子どもの代表による「平和への誓い」を取り入れれば、より良い式典になると思うがどうか。</p> <p>4.市民に戦争遺品・資料提供をお願いし、先の戦争の実相を後世に伝えるために「平和資料館」の設置が本市にも必要と思うがどうか。また、市立図書館内に戦争・平和に関する図書の常設コーナーを設けてはどうか。</p>	<p>市長 教育長</p>

# 令和5年第7回(12月)定例会一般質問通告一覧表

令和5年12月20日(水)

番号	氏名	質問事項
1	11 番議員 大田 稔子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーストラリア視察訪問について</li> <li>・旧とらまる図書館の利活用について</li> <li>・地域の賑わいづくりについて</li> </ul>
2	7 番議員 田中 久司	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の防災対策事業について</li> <li>・瀬戸内国際芸術祭2025に向けての組織体制づくりについて</li> </ul>
3	16 番議員 大藪 雅史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者としてのスポーツ財団について</li> <li>・市内の公衆トイレについて</li> <li>・田の浦野営場について</li> </ul>
4	4 番議員 安倍 正典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引田城跡の整備計画等について</li> <li>・外国人観光客対応の観光ガイドを目的とした英会話講座の開設について</li> </ul>
5	3 番議員 淀 紀清	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NHK連続テレビ小説「ブギウギ」の広報活動、今後の経済効果への期待について</li> <li>・公共施設における男性トイレのサンタリーボックス設置について</li> </ul>
6	9 番議員 宮脇 美智子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LGBTに関する本市の取組について</li> <li>・地域との協働推進に向けた市の取組について</li> <li>・ひとの駅さんぼんまつりの空きスペースを「みんなの美術館」にできないか</li> </ul>



受領 令和 5 年 12 月 5 日 午後 4 時 20 分

東かがわ市議会議長

渡邊 堅次 殿

令和 5 年 12 月 5 日

東かがわ市議会議員 大田 稔子



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
オーストラリア視察訪問について	令和 5 年 11 月 6 日から 11 月 10 日まで教育委員会の職員 3 名が、来年度以降の交流に向けて、オーストラリア視察訪問を実施した。以下 3 点について伺う。 1. 視察訪問の内容 2. 成果 3. 今後の展開	教育長
旧とらまる図書館の利活用について	大内スポーツセンター内の旧とらまる図書館は、令和 2 年 9 月から国土交通省に貸している。 この施設前にはダリの芸術作品も展示され、景色も最高によく、周りにパペットランド・こどもの遊具も整備され利用価値がとても高いと考える。今後、具体的に進めていくことが必要であると感じるが、利活用として、例えば先般、東かがわ市の中高生が企画・運営する 1 日限定のカフェが、旧とらまる図書館で開かれた。コーディネーターの方は大変であったと思うが生徒たちが清掃等行い地域を盛り上げたいと思汗を流した事業である。このようなイベント等への貸し出しをもっと積極的に周知してはどうか。また、現在、来年 3 月までの実証実験として、旧本町幼稚園で「東かがわこどもひろば」を開設している。この事業を旧とらまる図書館を利用して、土曜日・日曜日限定で、各種団体が「東かがわこどもひろば」を展開することも可能と考えられるが、今後の利活用について、市長・教育長に伺う。	市長 教育長
地域の賑わいづくりについて	2025 年大阪・関西万博、瀬戸内国際芸術祭が開催される。そこで、この機会を地域の賑わいに繋げられることが大変重要と考えるが、下記 4 点について、市長の所見を伺う。 1. 宿泊	市長



	<p>讚州井筒屋敷を宿泊施設に、また、周辺の空き家の利活用</p> <p>2. 食 東かがわ市の独自の食品開発の取組</p> <p>3. 移動手段の取組</p> <p>4. 産直 地場産業手袋等・農林水産物・地元企業の商品の展示・販売</p>	
--	---	--



受領 令和 5年 12月 5日 午後 4 時 25分

令和 5年 12月 5日

東かがわ市議会議長  
渡 邊 堅 次 殿

東かがわ市議会議員 田 中 久 司 印

### 一 般 質 問 の 通 告 書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
1. 本市の防災対策事業について	<p>先月、総務建設経済常任委員会で、愛媛県大洲市の防災対策事業の取組について、視察研修を行った。</p> <p>今回は、本市との比較検証を加えながらその課題点について質問を行う。</p> <p>大洲市は、戦後最大といわれる平成 30 年の西日本豪雨災害で市内中央を流れる肱川が氾濫し、死者を出すなど、市全体が甚大な被害を受けたことは記憶にも新しい。この経験を教訓に、国、県とも連携しながら、再度の災害防止に向けて、現在も、上中流域全体で防災への対策を共有していく取組を「肱川水系流域治水プロジェクト」として実践している。</p> <p>&lt;ハード面の取組事例&gt;</p> <p>河川管理者と流域住民が一体となり内水被害の防止対策を推進できる「特定都市河川浸水被害対策法」に基づき、以下の施策を実施している。</p> <p>①堤防を兼ねた市道により浸水を遅らせる二線堤の整備</p> <p>②貯留施設整備</p> <p>③工場敷地などの止水壁整備を支援</p> <p>&lt;ソフト面での取組事例&gt;</p> <p>①「災害・避難カード事業」の実施</p> <p>平成 30 年の豪雨災害後、市独自の「災害避難カード事業補助金」の制度を創設し、事業に掛かる費用を助成している。</p> <p>②情報発信手段の多重化</p> <p>従来の Lアラート、県、市の防災メールに加え、「コスモキャスト」やラインなど、情報発信手段の多重化を図っている。</p> <p>③自主防災組織（33地区）の連絡協議会の実施</p> <p>④防災士資格取得費用の公費負担</p>	市長

⑤避難行動要支援者名簿情報の提供と周知

パンフレットを作成し、要支援者の災害時の避難について市民への周知・理解を図り、自助、共助、公助の支援体制づくりに取り組んでいる。

これら大洲市の防災対策事業の事例を踏まえたうえで、本市との比較検証を加えながら、以下3点について質問をしたい。

1. ダムの緊急放流（異常洪水時防災操作）について

本市においても、平成16年の台風23号による豪雨で、市内を流れる与田川、湊川が氾濫し、浸水・土石流などの被害が発生したが、その際に、上流の大内ダム、五名ダムにおいて、緊急放流がされたと聞かすが、緊急放流にあたり、国、県、住民との連絡、情報共有の方法について、災害の前後で改善された点はあるのかを伺いたい。

2. 災害時の情報発信手段について

大洲市では、災害の教訓を生かし、情報発信手段の多重化（全部で9種類）に取り組んでおり、パンフレットの全世帯配布により市民への周知を行い、避難情報が届かない住民を少しでも減らす取組を行っている。

本市における情報発信手段の現状と課題をどのように捉えているのか、また、令和6年に予定している「東かがわアプリ」について、災害情報発信の機能の実装をどのように考えているのか、伺いたい。

3. 災害・避難カードについて

大洲市三善地区では、平成30年の西日本豪雨災害以前から、災害・避難カード事業に積極的に取り組んできたが、当災害では、市内地区で唯一「人的被害ゼロ」という結果を残している。日頃から、一人でも多くの方が、災害・避難カードにより、避難所情報、避難経路、危険箇所などを事前に確認できるよう準備しておく地道な対応がいかに重要かを示した結果だと言えるのではないかと。

大きな予算をかけることなく、自主防災と連携すれば、本市でも十分実践が可能な取組であり、現在の自主防災活動をより実践的レベルに引き上げるためにも、今後、予算措置を検討すべき取組だと考えるがどうか。また、本市の自主防災活動の現状がどうであるかについても、併せて伺いたい。

<p>2. 瀬戸内国際芸術祭 2025 に向けての組織体制づくりについて</p>	<p>瀬戸内国際芸術祭 2025 の夏会期が、本市でも開催することが決定した。自然豊かな環境に恵まれた瀬戸内海を背景とした芸術作品の鑑賞ができることから、国内外を問わず多くの人が本市を訪れることが予想される。</p> <p>本番まであと1年7か月となり、来年度（令和6年度）は、本格的な準備段階に入るが、施設整備、安全対策、緊急対応、さらには交通環境整備、民間への協力依頼、広報活動など、その準備に関わる業務は多方面にわたっており、さらに本番においても、交通移動手段の確保、インバウンド対策、オーバーツーリズムなどの問題も予想されている。</p> <p>これらを踏まえ、あるべき組織体制や予想される問題点について、行政としてどのような対応を考えているのか、以下について伺いたい。</p> <p>① 組織体制について</p> <p>瀬戸内国際芸術祭の開催にあたり、新たに様々な業務が発生することから、これまで以上のマンパワーが必要となることは明らかである。従来の業務と兼務しながら、部署横断的組織として対応していくのか、あるいは専任スタッフによるチームを作り、集中して進めていくのか、いずれにしても大幅な行政組織の増強や変更が必要ではないか。</p> <p>本市として、職員配置を含む組織の体制づくりにおいて、どのような方向性を持っているのかをお聞きしたい。</p> <p>併せて、民間の協賛支援、さらには、ボランティアやサポーターなどの市民レベルの支援体制との連携について、どのような体制を考えているのか伺いたい。</p> <p>② 予想される課題点について</p> <p>交通移動手段の確保、外国人訪問客に対するインバウンド対策、またオーバーツーリズムなど、予想される課題に対して、現段階において行政としてどのような対応を考えているのか伺いたい。</p>	<p>市長</p>
--	--	-----------



受領 令和5年12月7日 午後3時00分

令和5年12月7日

東かがわ市議会議長  
渡邊 堅次 殿

東かがわ市議会議員 大藪 雅史



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
指定管理者としてのスポーツ財団について	東かがわ市温水プールが、一般財団法人東かがわ市スポーツ財団ではなく新しい指定管理者により開業することに伴い、スポーツ財団の人員が一部移ると聞いた。 スポーツ財団は、そのような状態で指定管理の業務を続けることになる。市民にとって十分な管理運営を行っているのか、所見を伺う。	教育長
市内の公衆トイレについて	市内の公衆トイレについて、以下の2点を伺う。 ① 公衆トイレの設置基準について ② 三本松公園の公衆トイレの設置について、平成25年第6回定例会、平成29年第3回定例会において同僚議員が一般質問を行ってきたところであるが、その後の設置への取組について	市長
田の浦野営場について	田の浦野営場について、現在の管理状況はどうなっているのか。また、市としてその管理をどう考えているのか、所見を伺う。	市長



受領 令和 5 年 12 月 7 日 午後 4 時 50 分

令和 5 年 12 月 7 日

東かがわ市議会議長

渡邊 堅次 殿

東かがわ市議会議員 安倍 正典



## 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
引田城跡の整備計画等について	<p>引田城跡が 2020 年に国の史跡に指定されてから 4 年近くが経過しました。引田港側の登山口には新しく駐車場が整備され、また本年度は 3 周年記念事業としての登城イベントが行われました。そして歴史民俗資料館では引田城跡特別展が開催されました。しかしながら引田城跡そのものの整備計画は成されておられません。なぜ今日まで国の史跡に指定された記念的なイベントや整備計画が行われなかったのか伺います。</p> <p>また、台風被害などで崩落した高石垣上段の石垣については、10 数年以上ブルーシートで覆われており早急に整備する必要性を感じます。高石垣を中心とした引田城跡全体の整備計画が今後どのように行われていくのか伺います。</p>	教育長
外国人観光客対応の観光ガイドを目的とした英会話講座の開設について	<p>2025 年には瀬戸内国際芸術祭、大阪・関西万博が開催され大勢の外国人観光客が東かがわ市を訪れるものと期待しています。</p> <p>私自身もボランティアガイドをしています。外国人観光客対応の通訳の必要性を痛感しています。</p> <p>開催されるまでの時間がそう多くはないので本格的な通訳養成とはいかないまでも、せめて観光ガイドを目的とした英会話講座を早急に開設して欲しいと願っています。</p> <p>教育長のお考えを伺います。</p>	教育長



受領 令和5年12月7日 午後5時00分

令和5年12月7日

東かがわ市議会議長

渡邊 堅次 殿

東かがわ市議会議員 淀 紀清



## 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
NHK 連続テレビ小説「ブギウギ」の広報活動、今後の経済効果への期待について	<p>NHK 連続テレビ小説「ブギウギ」の舞台のひとつである東かがわ市は、明るい笑顔とまっすぐな心でたくさんの人々に勇気と希望を与えていく主人公のモデルとなった「笠置シヅ子」の生まれ故郷である。</p> <p>放送決定後には、市役所にて懸垂幕等を掲示し市民へ周知したり、ロケ地誘致への働きかけや、子どもたちにより分かりやすく伝えられるように紙芝居を使って読み聞かせを行うなど、市民の関心や認知度の向上を図り、本市は積極的な広報活動に取り組んでいると考える。</p> <p>これらのことから、市長に以下の4点について伺う。</p> <p>(1)「ブギウギ」放送から約2か月が経過しているが、放送開始から現在まで、NHK とどのような連携をしてきたのか。また、市民にどのような広報活動ができたのか伺う。</p> <p>(2)「ブギウギ」の放送に合わせ、県外へ積極的にPRし、特産品や地域資源の魅力を更に発信することを目的に、市民参加型の東かがわ市ブギウギ応援隊が結成された。東かがわ市ブギウギ応援隊に本市はどのように関わってきたのか、また活動実績について伺う。</p> <p>(3)東かがわ市ブギウギ応援隊などによるうどんの振る舞いや、地域ダンススクールによるブギウギのダンスパフォーマンスなどのアピールは盛り上がりが見えて伝わり、活気にあふれ、素晴らしいと感じる。しかし、単なるアピールやファンサービスに終わってしまわぬよう、コラボ商品を開発していくなど、本市にしかできないような活動を行う考えはあるか。</p> <p>(4)今後「ブギウギ」による経済効果、観光客を誘引する手だてや仕掛けをどのようにつくっていくのか、今後の取組について伺う。</p>	市長

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
<p>公共施設における男性トイレのサニタリーボックス設置について</p>	<p>近年、前立腺がん、膀胱がんなど男性特有のがん患者が急増しており、手術を受けた場合、出血や尿漏れなどといった症状と付き合っていかなければならないと聞いた。</p> <p>このことから市長に以下の2点について伺う。</p> <p>(1)近年男性トイレにサニタリーボックスを設置している自治体が増加している。各市のホームページを確認すると、高松市では市役所に2箇所、丸亀市では市役所本庁舎ほか12箇所に、坂出市では市役所本庁舎ほか13箇所に設置されている。本市では研究調査が行えているのか、また本市の現状をどのように認識しているのか伺う。</p> <p>(2)尿漏れパッドやおむつを使用している方が処理に困ることがないよう、公共施設等の男性トイレにサニタリーボックスを設置または増設してはどうか。</p>	<p>市長</p>



受領 令和 5 年 12 月 8 日 午前 10 時 45 分

令和 5 年 12 月 8 日

東かがわ市議会議長  
渡邊 堅次 殿

東かがわ市議会議員

宮脇 美智子



### 一般質問の通告書

質問事項	質問要旨(内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
LGBTに関する本市の取組について	<p>性的少数者の方々の権利擁護のために、本年6月国会において性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律(LGBT 理解増進法)が制定されました。この法律の制定に伴い、学校、教育現場及び地方自治体が具体的なアクションに努めるよう求められ、自治体の取組が地域住民へ及ぼす影響も極めて大きくなることが予想されます。本市議会でも、令和4年1月にLGBTについての研修を行いました。性的少数者の方々への差別や偏見を容認してはならず、すべての市民が安心して生活ができるよう配慮していくために本質問をさせていただきます。</p> <p>文部科学省は、2016年に作成した周知資料「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応の実施について(教職員向け)」で、一般論として性に関することを学校教育の中で扱う場合は、適切な対応が必要ということで、4つの注意事項を示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・児童生徒の発達の段階を踏まえること</li><li>・学校全体で共通理解を図ること</li><li>・保護者の理解を得ること</li><li>・事前に集団指導として行う内容と個別指導との内容を区別しておくこと</li></ul> <p>性的少数者であるということを理由に差別やいじめを行うことは決して許されることではありません。また、当事者として悩みを抱える生徒や保護者の方には、きめ細やかな配慮は必要です。しかし、大人と違い、様々な情報から影響を受けやすい子どもたちへの性の多様性に関する全体教育については、今後も文部科学省の注意事項に沿った形で充分考慮して実施していただきたいと思います。</p>	市長 教育長

<p>地域との協働推進に向けた市の取組について</p>	<p>①本市では現在どのような LGBT 教育がなされているか、またこれらの注意事項に沿って LGBT 教育実施前に、保護者の理解を得るという点では、どのようなことを行ってきたか</p> <p>②教職員に対してはどのような研修等を行っているか</p> <p>③本市の LGBT に関する教育についての計画や、導入年齢は適切なものであるか</p> <p>公共施設について、性的少数者の方々への配慮として東京都などでは、公共トイレから女性専用トイレを廃止し、男女共用の「誰でもトイレ」と「男性専用トイレ」のみとする事例が増えていますが、こうした現状に女性からは不安の声が上がっています。現に、東京都内にある施設では、ジェンダーレストイレが設置されましたが、性犯罪増加の懸念等で、廃止になった事例もあります。</p> <p>④今後の公共トイレの改修工事が計画される際には女子トイレの設置は別に確保した上で、性的少数者の方々へ配慮したトイレを検討する必要があると考えるがご見解を伺う</p> <p>パートナーシップ制度について、本市では、令和3年1月より導入しております。</p> <p>⑤パートナーシップ制度によって行政サービスや民間サービスが受けやすくなったが、何か課題はないか</p> <p>本年6月議会定例会の一般質問におきまして、私は地域課題解決への取組の評価と今後について市長に所見を伺いました。</p> <p>その際の市長のご答弁では、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な地域コミュニティの実現のために、担い手の育成が大きな課題で、担い手育成のためには特に若い世代の力を生かしていくことが重要である。</li> <li>・今後も市民との協働のまちづくりの実現に向け、引き続き必要な施策や支援を行い、地域特性に即した地域課題の取組が自主的に進められるようにする。</li> <li>・地域における様々な課題がすべて解決できているとは思っていないがその部分に対しても市の指導、助言等の関与は十分にできている。</li> <li>・地域課題に関しては隠れた課題もあると考えられるので、今後も把握に努めていく。</li> <li>・地域の自主性、自主的な取組のみで、すべての地域課題が解決できるとは考えていないため、引き続き市も各地域コミュニティ協議会間の連携を深める機会を作ると共に、幅広い地域住民の総意により地域課題解決に向けた活動が実施できるよう取り組む。</li> </ul> <p>というお考えを示されました。</p>	<p>市長</p>
-----------------------------	---	-----------

<p>ひとの駅さん ぼんまつの 空きスペース を「みんなの 美術館」にで きないか</p>	<p>先の9月議会定例会におきまして、令和6年度から10年間の次期東かがわ市基本構想が可決成立しました。その基本構想には、7つのまちづくりの課題を列挙しており、そのうちの4つは地域コミュニティに関係する事項であります。</p> <p>そのうえで、将来像の実現に向けて取り組む5つのビジョンの内の2から4には、地域コミュニティの関与が不可欠な項目であると思えます。現在、6つの地域コミュニティ協議会が実働しておりますが、地域コミュニティ協議会のない地域や休止中の地域についても、市として次期基本構想に掲げるまちづくりビジョンを展開しなければならないと考えます。そのためには地域コミュニティ協議会の有無に関わらず、地域課題の共有と解決に向けて、地域で何ができるかといった、共通認識を持つための機会を作ることが必要ではないかと考えます。そこで以下の2点についてお伺いいたします。</p> <p>①例えばワークショップのような機会を行政が計画していただけるお考えはあるのか</p> <p>②地域コミュニティ協議会の創設が容易でない地域に対してはどのように関与していくお考えか</p> <p>令和6年より施行される本市の第2期教育の大綱には、「教養文化の推進、健康の増進を図る」という項目が挙げられており、その中の一つに、市民の主体的な学習活動への支援及び学習成果を生かせる機会づくり事業として、市立図書館、交流プラザ等を利用した文化芸術活動の充実とあります。本市には絵画、書道、写真などでセミプロに当たるような素晴らしいアーティストの方々も多いように見受けられます。現在、市役所庁舎の玄関や、ギャラリーなどでの作品展示も行われてはいるものの、市民美術展や文化祭等の催しも一年に一度のみと、展示の機会がとても少ないように感じます。</p> <p>芸術的価値の高い素晴らしい作品がありながら、そのまま埋もれていき、他の方の目に留まることなく捨てられてしまうといった事態も起きているとお声も聞いています。</p> <p>そのような素晴らしい作品や、現在本市で頑張られている方々の作品を、未来を担う子どもたちの文化・芸術の芽を育むためにも、また、もっと多くの市民の方々に鑑賞していただくためにも、日々の生活の中で身近に作品を鑑賞できる場所があると良いのではないかと考えます。</p> <p>そこで本市の文化・芸術の振興の一環として、ひとの駅さんぼんまつの1階のユーティリティスペース、もしくは2階、3階で余裕があるスペースを、「みんなの美術館」として活用することはできないか、ご所見を伺います。</p>	<p>市長 教育長</p>
---	---	-------------------